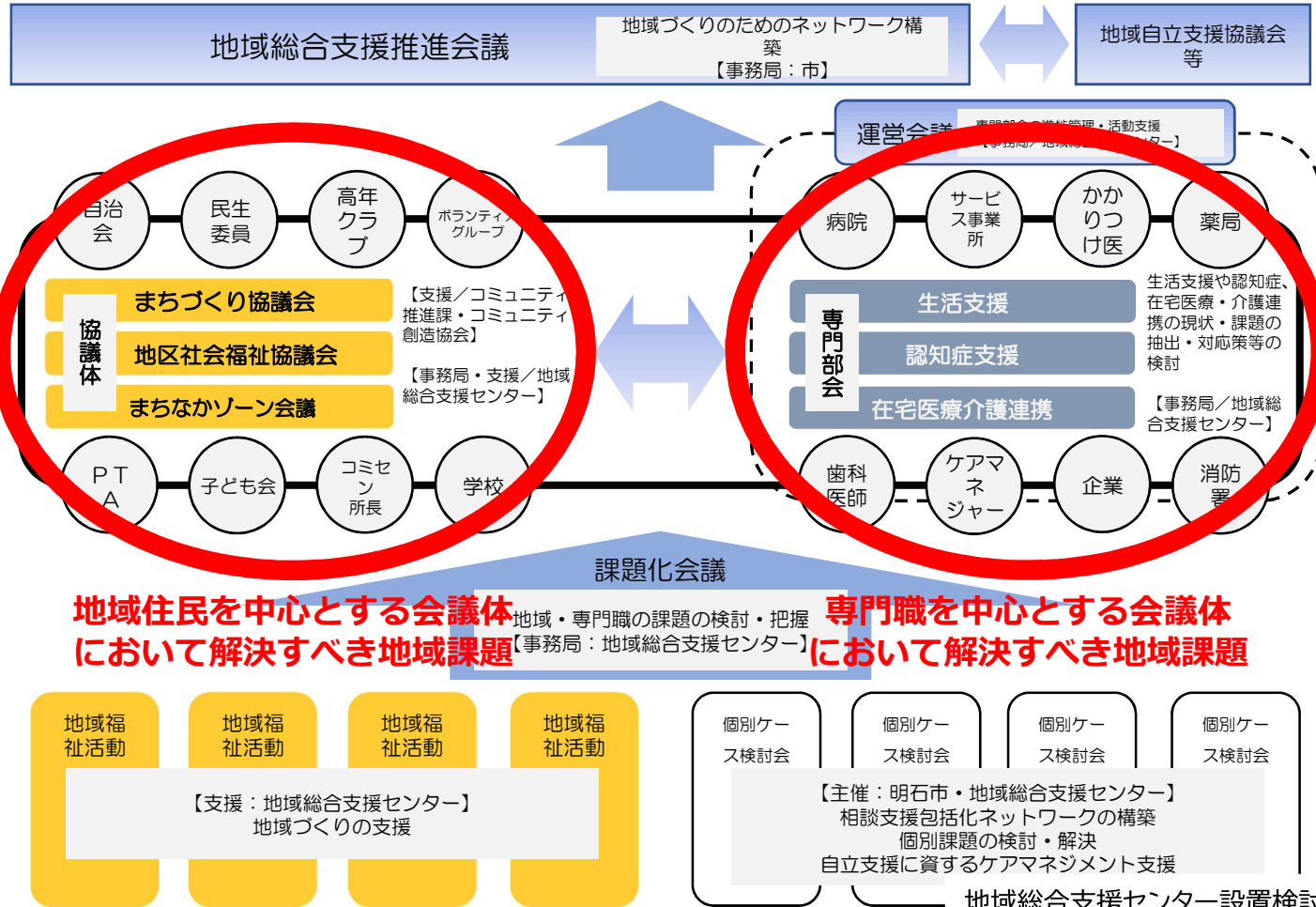


地域総合支援センター運営協議会(2024年2月1日)

きんじょう・きぬがわ
総合支援センター実践報告
【錦城地区】

地域総合支援協議会の構成

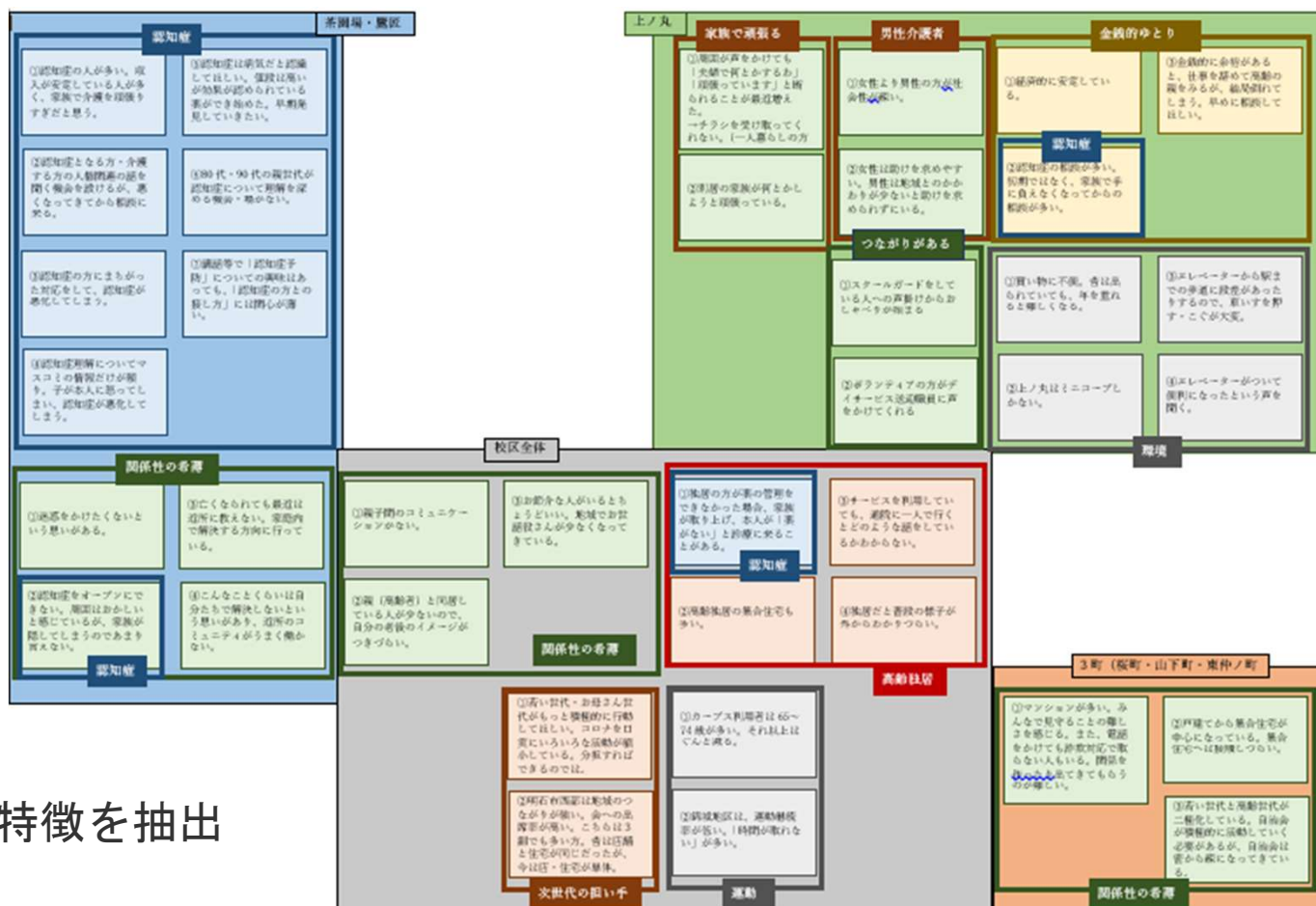


地域総合支援センター設置検討委員会資料から

錦城地区の現状等（まちなかゾーン会議の意見のありのままの文言）

- ・認知症の相談が多い。初期ではなく家族で手に負えなくなっからの相談が多い。
- ・ご夫婦でいると「夫婦で何とかするわ」と言われて、周りの方が声をかけても「頑張ってる」と断られることが最近増えた気がする。活動の声掛けをしても、チラシ受け取ってくれない。
- ・女性は助けを求めやすい。男性は地域のかかわりが少ないと助けを求められずにいる。
- ・認知症は病気だと認識してほしい→高いが良い薬ができ始めた。早期発見していききたい。
- ・マスコミの情報だけで認知症を理解して判断してしまう。
- ・買い物に不便。昔は外に出られても、年を重ねると難しくなる。
- ・金銭的に余裕があると仕事を辞めて高齢の父母をみる→結局倒れる
- ・明石公園がある→公園を歩いて、会っておしゃべりできる。
- ・マンションが多い。みんなで見守ることの難しさを感じる。また、電話をかけても詐欺対応で取らない人もいる。関係を作ったり出てきてもらうのが難しい。
- ・独居だと普段の様子が外からはわかりにくい。
- ・30～50代など若い世代がもっと積極的に行動してほしい。親（高齢者）と同居している人が少ないので、自分の老後のイメージがつきにくい。
- ・錦城地区は運動継続率が低い。理由は「時間が取れない」が多い。

各地域の現状を地域ごとに整理



共通点や特徴を抽出

上ノ丸地域



認知症

家族で頑張る

男性介護者

環境

経済力

つながりがある

茶園場町・鷹匠町地域



認知症

関係性の希薄

桜町・山下町・東仲ノ町地域



関係性の希薄

錦城校区全体



認知症

家族で頑張る

男性介護者

環境

経済力

つながりがある

関係性の希薄

ひとり暮らし高齢者

次世代の担い手

運動

認知症・フレイル予防

×

介護者支援

×

認知症への対応

×

最新情報の提供

×

早期発見



いきいき教室

いきいき教室

《体力測定・健康体操》
 ☆2022年7月22日（金）
 桜町会館
 ～AIを使った歩き方チェック～
 講師：株式会社ヤマシタ 新井さん
 ～健康体操～
 講師：あかし保健所 健康推進課
 健康運動指導士 里田さん

撮られてると緊張するわぁ～

何点だった？
こんな体操がいいのね

スマートフォンで歩く姿を撮影。歩く速さやリズム、ふらつきなどの項目があり、20点満点で採点してくれました。その後、その人にあった体操の提案もしてくださいました。他の参加者さんが見る中での測定だったので、「いつもよりきれいな歩き方してる（笑）」などの声もあり、緊張しながらも楽しい雰囲気の中で測定できました。

《お薬について》
 ☆2022年11月8日（水）
 花と緑のまちづくりセンター研修室
 講師：市民薬局 高橋さん

食間のお薬は食事中ではなく、食事と食事の間に飲んでくださいね！

お薬の副作用や飲み合わせについて薬剤師さんから話を伺いました。飲み合わせやお薬手帳の電子化のことやかかりつけ薬局のことを伝えてもらいました。薬剤師さんはお薬を出すだけではなく、きちんと飲んでいるのか、飲むためにはどうすればいいのかを考え下さっています！！参加者さんも熱心に聞かれており、会が終わってからも個別相談をされる方もいました。

《認知症予防について》
 ☆2023年1月23日（月）
 むつみ会館
 講師：きんじょう・きぬがわ総合支援センター職員

認知症についての説明を行い、認知症予防の取組として、アハ体験や筋力トレーニング、デュアルタスク体操などを参加者さんと一緒に行いました。上手にできてできなくても、皆さん笑いながら楽しく参加していただきました。

いきいきつうしん

2023年春号

いきいき つうしん

発行 錦城地区まちなかゾーン会議

2年ぶりに まちなかゾーン会議を開催しました！！

コロナ禍で開催ができなかった、錦城地区まちなかゾーン会議を約2年ぶりに開催することができました。当日は会場に来られる方、Zoomで参加する方と今までの会議と違うかたちで実施しました。

会議の中では、開催できない間にどのようなことが地域で起こったのか、今後、住民の皆さんの健康増進のためにはどうすればよいのかなどを話し合いました。

その中で、いきいき教室にもっと多くの方に来ていただくきっかけについて話し合い、**いきいき教室スタンプカード**を作りました♪

このページの下にあるスタンプカードを切り取っていきいき教室にご参加いただくとスタンプを押します。2つスタンプをためると記念品をお渡しします

いきいき教室
スタンプカード

氏名: _____

スタンプ2つで記念品と交換♡

発行元: 錦城地区まちなかゾーン会議

問合せ先
きんじょう・きぬがわ総合支援センター
TEL: 078-915-2631



夏まついブース出展

取組項目	まちなかゾーン会議構成員からの意見
いきいき教室	<p>○介護を抱え込んでいる人に、例えば教室のチラシをお持ちすると、「どうしてうちに要介護者がいると知っているの」となりかねないので、見守りをするにしても、どこまで踏み込んでいいのかとても難しい。</p> <p>○40～50歳代の若い世代に知ってもらうには、教室を土日に開催するなど、参加しやすい回を設けるのも一つだ。</p>
いきいき通信	<p>○いきいき教室の更なる参加者増に向けて、2024年のいきいき教室のスケジュールを記載したり、スタンプ2点でもらえる記念品を紹介したりする案をいただいた。</p> <p>○またゾーン構成員の認知症関連にまつわる取り組み紹介などに写真やイラストを載せてはどうか</p>
明石小校区夏まつりブース出展	<p>○認知症に関するクイズを行い、まずは興味を持っていただき、クイズの回答と共に若い世代向けのいきいき教室の案内チラシを配ることで、40～50歳代の参加につなげてはどうか。</p> <p>○「認知症になっても自分らしく生活していくことができる」という啓発も大切だ。</p>